

| | | | |
|----|----|-----|------|
| 教科 | 国語 | 単元名 | 竹取物語 |
|----|----|-----|------|

本時のねらい

- 音読に必要な文語のきまりを知り、古文を音読し、古典の世界に親しむ。
- 自分のことを伝えることができ、それらを聞いて共通点や相違点などを踏まえ質問をしたり感想を伝えたりできる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- 漢字の形をとらえ、筆順を確認できる。漢字学習への抵抗感を減らし自分のペースで学習することができる。
- コミュニケーションのトレーニングができる。(友人の意見にうまく返答する練習)

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- iPad
- ロイロノート
- ジャムボード
- テレビモニター

本時の展開

| 学習の流れ | 主な学習活動と内容 | ICT 活用のポイント・工夫 |
|---------------|--|---|
| 導入 (15 分) | <ul style="list-style-type: none"> ○今日の流れ・本日のめあてを知る ○ウォーミングアップ ・方言クイズ (本人作成) / まちがいさがし ○漢字練習 ・読み・書きテスト 方法①漢字練習アプリ 方法②見て覚える 方法③プリントに書く | <ul style="list-style-type: none"> ・個々の特性にあった方法で学ぶことができる。 ・意味のわからない語句はタブレットを用いて自分で検索したり説明したりすることができる。 |
| 展開 (20 分) | <ul style="list-style-type: none"> ○竹取物語 ・冒頭部分の音声を 1 回聞く。 ・冒頭部分を 6 枚のカード (ロイロノート) にしたものを、音読し内容を理解する。 ・歴史的仮名遣いと現代の仮名遣いを整理する。→ロイロノート ・空欄に語句を入れる。→ロイロノート ・音声を聞いて音読練習 ・音読 | <ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートに配信した範読を自分の手元で聞くことができる。 ・書く量を減らすことにより、取り組みやすくなる。 |
| まとめ (15 分) | <ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーション・タイム 「好きなことをつなごう!!」 「短所を長所に変えたいやき」 ・ジャムボードに自分のことを入力し、友達の付箋にコメントする。 ○本日のめあてに対する達成度についてまとめる。 ○次時の内容を予告する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・言葉で表現することが苦手な生徒も、タブレットによる協働学習により、自分のことを伝えることができる。また、同級生のことも知ることができる。 |

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



QRコードを読み取って、竹取物語の範読を聞いている場面



選択肢を動かして、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに変換している場面



Jamboard で書き合った仲間へのコメントを共有している場面

児童生徒の反応や変容

- 自分のペースで範読を聞いてくり返し練習することで、自信を持って大きな声で音読ができるようになった。
- 同級生と会話がしにくい生徒や友達との関わりが少ない生徒も、自分に送られたコメントを見たり、同級生にコメントを入力したりしてコミュニケーションをとることができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ジャムボードで意見の交流をすることで、対面でのつながりに困難を抱える生徒も、少しずつ仲間とのつながりを作っていけるということがわかった。
- コミュニケーションのためのひとつのツールとしてタブレットを活用することで、コミュニケーションの方法を増やすことができる。配慮や支援の必要な生徒にとって、どのような方法が便利で効果的なのか生徒と一緒に考えていきたい。